

# 特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡

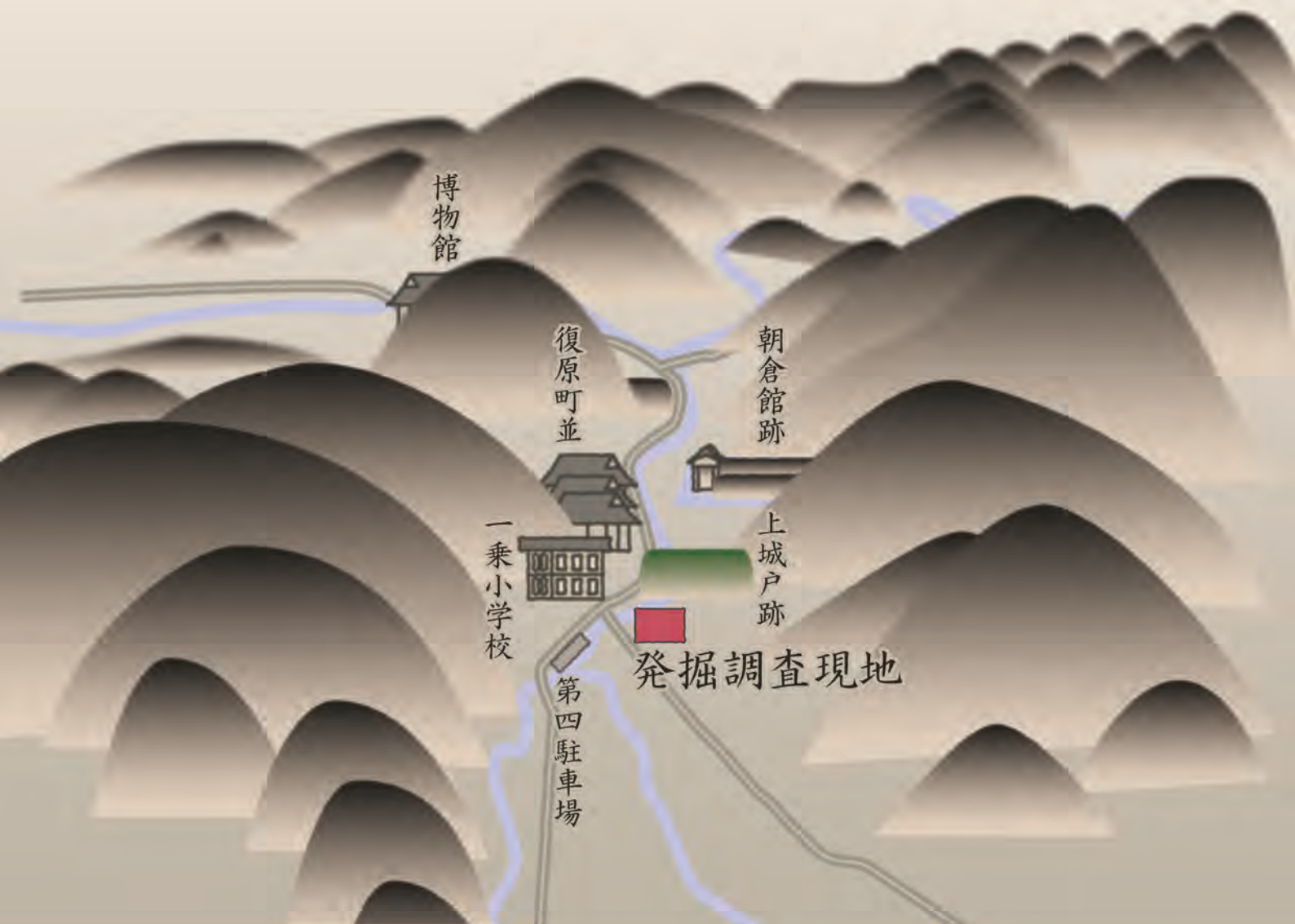
## 第155次発掘調査現地説明会

日時 令和5年12月3日(日) 午後1:30～2:30

会場 一乗谷朝倉氏遺跡上城戸跡南側 発掘調査現地

主催 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

※詳細は裏面または博物館ホームページをご覧ください。



## 一乗谷朝倉氏遺跡第155次発掘調査現地説明会

戦国大名朝倉氏の城下町、一乗谷では50年以上にわたって発掘調査を行ってきました。

今年度は、一乗谷を守る土塁「上城戸跡」のすぐ外側に広がる空間を調査し、武家屋敷や土地の区画となる土塁などを確認しました。



博物館HP

お問い合わせ先

住所：福井市安波賀中島町8-10 電話：0776-41-7700 メール：asakura@pref.fukui.lg.jp





# 特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡 第155次発掘調査現地説明会

日時 令和5年12月3日(日)午後1:30～2:30  
会場 一乗谷朝倉氏遺跡上城戸跡南側 発掘調査現地  
福井市東新町 福井市立一乗小学校対岸



## ポイント① 上城戸跡の外側

城下町一乗谷を横切る防御施設「上城戸跡」。  
谷の中心部を守るように位置する土塁で、朝倉氏の時代はこちらが城下町の表でした。外側には重臣の屋敷や重要な施設があったようで、今に残る地名には、「小林谷」「青木」といった重臣の名前に由来するものや、足利義昭が滞在したことで知られる「御所」「安養寺」といったものが見られます。  
今回の発掘調査では、上城戸跡のすぐ外側を調査しました。



## ポイント② 区画の土塁

遺跡にある建物や施設の跡を「遺構」と呼びます。  
今回の調査では、広い範囲を区画する石積みの土塁が見つかったことから、広い敷地をもつ屋敷があったことがうかがえます。このほか、石組の井戸や溜溝、溝のほか礫敷きなども見つかりました。



## ポイント③ 戦国時代の遺物

昔の人が使った道具(遺物)も見つかりました。  
越前焼などの日用品のほか、中国などから輸入した陶磁器、弾丸や溶けた鉛、甲冑の金具、ガラスなども出土しました。これらの遺物から、調査した場所は、かつては上級の武士の屋敷であったと推測できます。



対 象 どなたでもご参加いただけます。  
参加方法 事前申し込み不要。  
当日、会場にお越しください。  
参加費 無料  
その他 お車でのご越しの方は、一乗谷朝倉氏遺跡第4駐車場をご利用ください。  
会場は野外のため、足場が悪くなっております。  
雨天中止。



お問い合わせ先  
住 所：福井市安波賀中島町 8-10 電 話：0776-41-7700 メール：asakura@pref.fukui.lg.jp